

みなさんからの「請願・陳情」
（委員会審査状況）

《陳情第5号》
「国の責任による35人以下学級の前進」を
求める陳情
（平成27年5月提出）

《提出者》
宇都宮市兵庫塚3-10-30
全栃木教職員組合
執行委員長 篠原 章彦

《請願の趣旨》
○国の責任で、小学校3年生以降の35人以下
学級を計画的に前進させる意見書の提出
を求めるもの
○35人以下学級実現のため、標準法を改正し
て教職員定数改善計画を立てる意見書の
提出を求めるもの

《文教委審査の内容・結果》
審査では、本市は、大規模校から小規模校
まで、児童生徒の人数は地域により差があり
ます。本市の状況を調査するとともに、教職
員定数改善計画についても調査しなければ
ならないことから本委員会では**継続審査**と
することにいたしました。

《陳情第6号》
特別支援学校の「設置基準」策定を国に
求める陳情
（平成27年5月提出）

《提出者》
宇都宮市兵庫塚3-10-30
全栃木教職員組合
執行委員長 篠原 章彦

《請願の趣旨》
○特別支援学校の「設置基準」を策定する
ことを文部科学大臣に意見書の提出を
求めるもの

《文教委審査の内容・結果》
審査では、本市に施設がないため、施設の
運営がどのように行われているか不明な点
があり、現地調査をしないと結論が出せない
ため、近隣の施設を調査することとしたこと

から本委員会では**継続審査**とすることに
なりました。

《陳情第7号》
国の教育予算を増やして「高校無償化」を
復活し、給付制奨学金の確立を求める陳情
（平成27年5月提出）

《提出者》
宇都宮市兵庫塚3-10-30
全栃木教職員組合
執行委員長 篠原 章彦

《陳情の趣旨》
○「高等学校等就学支援金」への所得制限を
やめて「高校無償化」を復活させる意見書
の提出を求めるもの
○「奨学給付金」を拡充して、高校生への給付
制奨学金を確立する意見書の提出を求め
るもの

《文教委審査の内容・結果》
高等学校等就学支援金の現行制度は、教育
に係る経済的負担の軽減を図り、教育の實質
的な機会均等を図っていることから、採決で
は全会一致で**不採択**となりました。

《陳情第8号》
「大学生への給付制奨学金創設」を求める
陳情
（平成27年5月提出）

《提出者》
宇都宮市兵庫塚3-10-30
全栃木教職員組合
執行委員長 篠原 章彦

《陳情の趣旨》
○大学生に対する「給付制奨学金」制度を
つくることを求める意見を国に提出を
求めるもの

《文教委審査の内容・結果》
審査では、経済情勢の低迷から、貧困家庭
では、高校や大学に進学することを断念せざる
を得ないという状況も現実的にあり、給付
制奨学金の制度について調査しなければ判
断できないことから本委員会では**継続審査**
とすることにいたしました。

議会日誌

4月



- 9日 ○ 広報広聴委員会
- 14日 ○ 全員協議会
- 28日 ○ 二戸市議会行政視察受入

5月



- 8日 ○ 議会基本条例策定等検討委員会
- 12日 ○ 全員協議会
- 議会運営委員会
- 13日 ○ 唐津市議会行政視察受入
- 15日 ○ 那須市町村議会議長会総会
- 18日 ○ 総務常任委員会行政視察

（岡山県備前市、愛知県一宮市、
静岡県焼津市20日まで）

- 18日 ○ 文教常任委員会行政視察
- （埼玉県上尾市、兵庫県小野市、
奈良県奈良市20日まで）
- 20日 ○ 民生常任委員会行政視察

（東京都台東区、沖縄県沖縄市、
沖縄県読谷村、沖縄県那覇市
22日まで）

6月



- 26日 ○ 全員協議会
- 議会運営委員会
- 27日 ○ 関東市議会議長会議（28日まで）
- 29日 ○ 議会基本条例策定等検討委員会
- 県北5市議長会議

- 8日 ○ 全員協議会
- 議会運営委員会
- 15日 ○ 平成27年第2回市議会定例会
招集（本会議）
- 17日 ○ 本会議（一般質問）
- 18日 ○ 本会議（一般質問）

（静岡県焼津市20日まで）

- 22日 ○ 総務常任委員会
- 民生常任委員会
- 23日 ○ 建設産業常任委員会
- 文教常任委員会
- 25日 ○ 本会議（議決）

○ 議会運営委員会
○ 全員協議会
○ 広報広聴委員会